

北陸学院大学 「教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画」について

1 教員養成の目標（理念）

北陸学院は、石川県における最初の私立女子中等教育機関として1885（明治18）年の金沢女学校の創設以来、今日まで141年の歴史の中で、地域社会の変化と要請に応え、幼児教育、初等教育、中等教育、高等教育の各機関を有する総合学園へと発展してきました。その間、社会のニーズに対応した教育内容を提供しつつ、時代に左右されることのない普遍的な価値観として、「主を畏れることは知恵の初め」（『旧約聖書』詩編：111編）という建学の精神を一貫して継承しています。

「主を畏れることは知恵の初め」、すなわち「恵みをお与えになる神（主）への畏敬の念が愛に基づく知恵に人を導き、真実に良く生きるための土台となる」との考えを根幹として教育を行っています。

2023（令和5）年4月に教育学部を設置し、従前の「幼児教育・保育コース」の教育内容を基盤とする幼児教育学科と、同「初等・中等教育コース」の教育内容を基盤とする初等中等教育学科を開設しました。また、同年同月に健康科学部を設置し、従前の「食物栄養学科」の教育内容を基盤とした栄養学科を開設しました。

○教育学部における教員養成の理念

高度化・複雑化する社会環境に適応可能な専門的知識や技術を備えるとともに、子どもたちの多様な個性を大切に受けとめ一人一人の状況に応じた指導や支援ができる教員養成を目指しています。

＜幼児教育学科＞ 取得可能な免許状・資格：幼稚園教諭一種免許状

保育士資格

幼稚園教諭免許状と保育士資格の2つを取得し、幼稚園・保育所・認定こども園・施設など、多様化する教育・福祉のニーズに応える教育者・保育者を養成します。特に幼稚園教諭においては、幼小連携に対応しながら、特別な支援が必要な子どもへの支援もできる教育者を養成します。

幼稚園教諭免許状と併せて小学校教諭免許状の取得を希望する学生には、特別プログラムである「アドヴァンスト・プログラム」によって取得可能な体制を採っています。

＜初等中等教育学科＞ 取得可能な免許状：小学校教諭一種免許状

中学校教諭一種免許状（英語）

高等学校教諭一種免許状（英語）

小学校教諭免許状と中学校・高等学校教諭免許状（英語）を取得することができ、小学校段階から高等学校段階までの教育連携・接続に貢献し、英語に強い教育者を養成します。

小学校教諭免許状と併せて幼稚園教諭免許状の取得を希望する学生には、特別プログラムである「アドヴァンスト・プログラム」によって取得可能な体制を採っています。

○健康科学部における教員養成の理念

栄養教諭は、学校給食の管理を行う栄養士業務と食に関する指導を行う教育者としての立場を併せ持つ専門職であり、学校教育に携わる者として必要な資質と栄養に関する専門性とを備えた教員養成を目指しています。

＜栄養学科＞ 取得可能な免許状：栄養教諭一種免許状

学校教育で行われる食育指導に必要な知識や技術だけでなく、栄養士としての実践的な学びを加えて総合化することにより、優れた食の専門家としての教育者を養成します。

2 当該目標を達するための計画

○教育学部の計画

教員養成の目標を実現するとともに、教員に求められる適性及び資質を学生が十分理解した上で4年間の学びを行っていくことができるようにしています。また、教育実習が意義あるものとなるよう入学時に教職課程ガイダンスを実施してきました。さらに、免許種別にプレ実習・ボランティア体験を継続的に行い、4年間の履修を予め学生が理解し、見通しを持った学びができるよう『履修の手引』に履修モデルを記載しているほか、事前・事後指導をはじめとした学生へのサポート体制を採ってきました。

しかし、令和8年度の学生募集を停止したことから、現在の学生が卒業するまで安定した教職課程が実施できるよう、教員及び職員との連携体制を確保しています。

○健康科学部の計画

栄養教諭一種免許状取得に関しては、教員に求められる適性及び資質を学生が十分に理解して4年間の学びを行っていくことができるよう、また、実習が意義あるものとなるよう、学科独自のガイダンスのほかに、入学時に教職課程オリエンテーションを実施してきました。教職課程を選択する学生の場合、教育職員免許法に定める科目の履修修得が学習の過度な負担を増すことのないように配慮しつつ、4年間の教職課程科目の履修の見通しを持つことができるようにしてきました。

しかし、令和8年度の入学生から教職課程を廃止したことにより、現在の2年次以上の学生が卒業するまで安定した教職課程が実施できるよう、教員及び職員との連携体制を確保しています。